



消防隊による救急活動支援 (P A連携)について

P A連携とは、ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)が同時に出動し、相互に連携して救急活動を行うもので、双方の頭文字から「P A」と名前をつけたものです。

平成17年中の松前消防署の救急出動件数は1,122件(救急要請件数は1,162件)と年々増加を続けており、松前消防署に配備されている1台の救急車と伊予消防管内に配備されている救急車をもって運用していますが、時として連続した救急要請に対して、素早く確実な対応に支障をきたす場合が出てきています。

そこで松前消防署では、増加の一途をたどる救急出動や多様化する救急活動への柔軟な対応として、救急車が出動中の場合、救急隊員の資格を有する消防隊員が消防車で現場に先着し、救急車が到着するまで応急処置を施したり、心肺機能が停止した傷病者など救急要請内容により、救急車に加えてポンプ車が同時に出動して救急隊と連携した活動を行っています。

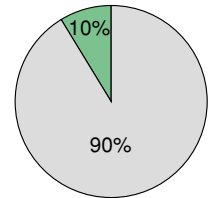
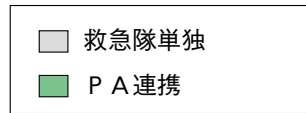
出動する消防車には、救急処置に必要な酸素吸入器やA E D(自動体外式除細動器)などが積載されています。こうした消防隊との連携活動により、傷病者の救出・救急処置がこれまで以上に迅速・確実に行われることとなり、救命率・住民サービスの向上を図ることができます。

※ 救急車を呼んでも、消防車がサイレンを鳴らして到着する場合がありますが、驚きや戸惑いを覚えることもあると思いますが、応急処置の必要性を第一に考えてのことでありますので、ご理解をお願いします。

P A連携活動内容

- ① 応急処置
- ② 救急車内収容までの搬送補助
- ③ 現場での二次災害防止・情報収集
- ④ 高度化する救急隊の救命処置補助

救急要請1162件におけるPA連携



出動車両



訓練風景



消防車積載資器材

救急出動件数は、年々増加の一途にあり平成16年中の全国の救急出動件数は、初めて500万件を超えました。これは、6.3秒に1回の出動で国民27人に1人が救急搬送された計算になります。

このような中、緊急性がないのに出動を要請されるケースも増えており、1分1秒を争う生命の危険がある傷病者への対応に支障が出かねない状況です。

事故や病気で救急車以外に搬送の手段がない時や、症状からみて緊急性があると思われる場合は、迷わずすぐに119番してください。

そうでない場合は、119番する前に自家用車やタクシーが利用できないか、今一度考えてみてください。

尊い命を救うために、住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

少年消防クラブ卒団式

松前町少年消防クラブ卒団式が松前小学校では3月7日、岡田小学校では3月2日、北伊予小学校では3月9日に行われました。

クラブ員は学校の防災リーダーとして校内に限らず、各家庭や地域における防火意識啓発に努めました。

卒団式では終了証と記念品が贈られ、これに対し卒団員を代表して委員長が誓いの言葉を述べ、胸を張って卒団しました。



▲松前小学校



▲岡田小学校



北伊予小学校▶